

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212V102		地域生活支援方法論 (Community Health Nursing Practice)					地域看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	1	1	医学部看護学科	後期	火4	日本語		複数(共同)							
担当教員	氏名 後藤奈穂・金崎理子・箕原靖子 E-mail goto-naho@oita-u.ac.jp 内線 5092/5095														
授業の概要	地域を単位とした看護の対象である、個人・家族・集団・地域の特性を理解し、様々な健康レベルの人々を支えるケアの専門職としての看護活動を理解する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 看護活動で出会う個人・家族・集団・地域の特性を説明する。															
目標2 人々が自らの健康を守るための行動(保健行動、支えあい、ケア行動)について、学生自らの体験や他者の体験と関連付けて説明する。															
目標3 公衆衛生看護活動の基盤となる家庭訪問・健康相談について説明する。															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									6					2	2
授業の内容															
1	オリエンテーション/地区活動における対象の捉え方 - 個人・家族														
2	地区活動における対象の捉え方 - 集団・地域														
3	人々の健康を守る行動とは - 保健行動・ケア行動・支え合い -														
4	家庭訪問														
5	家庭訪問														
6	家庭訪問														
7	健康相談														
8	健康相談														
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニング	A:知識の定着・確認	A:講義終了時のカード記入					工夫その他の	・あらゆる単位を対象とした看護活動において、対象を捉える手立てとなる理論や考え方を習得する ・事例をもとに家庭訪問や健康相談の実際について理解を深める							
	B:意見の表現・交換	B:発問、グループディスカッション													
	C:応用志向	C:グループによる事例検討													
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	教科書等を用い次回の学習内容について予習し、概要と疑問点を予習シートに整理し講義に臨む(8h)													
	事後学修	配布資料・教科書等を用い授業で学習した内容を復習する(4h)													
	想定時間合計														
教科書	宮崎美砂子他編:最新公衆衛生看護学 第3版 総論 2024年版.日本看護協会出版会, 2024														
参考書															

